

全国500歳野球大会・全県500歳・550歳野球大会の相違点並びに主な変更点(令和5年度)

大会別	全国500歳野球大会	全県500歳野球大会	全県550歳野球大会
1 出場資格	原則50歳以上 (基準日においては49歳の 場合もある)	全国500歳大会と同様	昭和42年4月1日以前に生 まれた方
2 登録者数	監督等を含め、30名以内	全国500歳大会と同様	監督等を含め、25名以内。 その他、世話人5名以内
3 試合イニング数 ・時間規制	7イニング制、1時間50分を 超えて新しいイニングに入 らない。(決勝戦は時間制 限を除く。)	5イニング制、1時間30分を 超えて新しいイニングに入 らない	全県500歳野球と同様
4 コールドゲーム	5回以降10点差で適用 (決勝戦は適用しない。)	4回10点差で適用(ただし 第42回大会を試行期間と する)	適用無し
5 特別延長規則	同点の場合はタイ・ブレイ クを適用。 ※一死満塁、打順は任意 とし、走者は選択した打者 の逆順とする。(決勝戦も 適用する。)	同点の場合はジャンケン。 大会3日目以降はタイ・ブ レイクを適用。 ※一死満塁、打順は任意 とし、走者は選択した打者 の逆順とする。(決勝戦も 適用する。)	同点の場合はジャンケン。 大会2日目以降はタイ・ブ レイクを適用。 ※一死満塁、打順は任意 とし、走者は選択した打者 の逆順とする。(決勝戦も 適用する。)
6 投手の年齢制限	55歳までの投手はアウト12 まで。56歳以上の投手は 制限なし。延長戦・特別 ルールの際には制限を適 用しない	55歳までの投手はアウト9 まで。56歳以上の投手は 制限なし。延長戦・特別 ルールの際には制限を適 用しない	59歳までの投手はアウト9 まで。60歳以上の投手は 制限なし。延長戦・特別 ルールの際には制限を適 用しない
7 シートノック	全試合5分間	5分間。大会3日目まで シートノックなし	5分間。大会初日はシート ノックなし
8 球場規格	センター90m・両翼80m	<del>センター85m・両翼75m</del> 全国500歳野球と同様	全県500歳野球と同様 センター85m・両翼75m

※小学校会場については、  
外野フェンスの移設は行いま  
せん。

<規則改正事項>

【平成22年度から新たに適用された規則】

- ・ランナーコーチのヘルメット着用義務  
※野球用ヘルメット(J.S.B.B・SG マーク付き)であればイヤーフラップの制限はない

【平成26年度から新たに適用された規則】

- ・使用バットは、J.S.B.Bマーク付き公認のものであれば制限はない
- ・木製バットは公認制度を適用しない

【平成28年度から新たに適用された規則】

- ・規定回数(全県500・550歳大会は5回、全国500歳大会は7回)を過ぎて同点の場合は、「タイ・ブレイク 方式(一死満塁、選択打順)」を採用する  
※全県500歳大会は大会3日目以降、550歳大会は大会2日目以降、全国500歳大会は、全ての試合で採用する

【平成29年度から新たに適用された規則】

- ・スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。

【平成30年度から新たに適用された規則】

- ・守備側のチーム監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

[確認事項:没収試合の防止に向けて]

- 1 試合前のメンバー表交換時点で大会本部の登録原簿(大会プログラム)照合により誤記等に気付いた場合  
(対応1) 出場選手、控え選手を問わず、氏名、背番号の誤記を発見した場合、注意を与えて書き直しとし、罰則等は適用しない。登録原簿以外の選手が記載されている場合も同様とする。また、守備位置のダブリ記載や同姓で二人を区別する頭文字あるいは名前を付けずに記載したような場合も同様とする。  
(対応2) 大会プログラムへの登録背番号と実際に着用しているユニホームの背番号が違う場合は、メンバー交換の際に申し出て、相手チームの代表者が了承した場合は出場を可とする。
- 2 試合中に誤記等が判明した場合  
(対応1) 登録選手間の背番号のつけ間違いは、判明した時点で正しく改めさせ罰則は適用しない。  
(対応2) 登録外選手または背番号が違う選手が出場した場合は、その選手の出場を差し止め、ベンチから退去させたいうで、チーム自体の没収試合とはしない。  
(対応3) ゲーム出場選手の合計年齢が500歳以上(550歳野球大会は550歳以上)を満たしていない場合は没収試合の対象とする。

©J.S.B.B(全日本軟式野球連盟公認)

©SG(製品安全協会認可・対人賠償責任保険付与)